

令和元年度 ケアリング・アイランド九州沖縄大学コンソーシアム事業  
災害看護領域研修プログラム

1. 日 時：令和元年 8 月 29 日（木）9:00～16:00
2. 場 所：日本赤十字社兵庫県支部 7 階研修室
3. 対象者：コンソーシアム加盟大学の 1 年生から 4 年生 総数 20 名～25 名  
福岡県立大学、沖縄県立看護大学、国際医療福祉大学、  
産業医科大学、聖マリア学院大学、福岡大学、福岡女学院看護大学

4. 内 容：タイムスケジュール

時間	内容	備考
09:00～09:30	オリエンテーション	大学担当教員
	グループワーク	
09:30～09:40	センター長の挨拶	
09:40～09:50	センター看護部の紹介	
09:50～10:50	災害派遣の実際について ・熊本地震 DMAT 活動について（30 分） ・国際派遣について（30 分）	ICU 下原看護師 ICU 中井看護師
10:50～11:30	センター内見学 ドクターカーでの看護師の役割について	グループに分かれて 勝田副部長・小林 CN
11:30～12:30	昼食	お弁当の手配確認
12:30～14:30	“災害看護活動の実際” 講義・演習（下記参照）	津田師長・勝田副部長
14:30～14:40	休憩	
14:40～15:20	<u>先輩看護師との交流タイム</u>	勝田副部長・堂脇看護師、 岩崎看護師・長倉看護師
15:20～15:30	個人ワーク：学習目標の達成度の確認・ 振り返り	大学側で対応
15:30～15:50	学びの発表・まとめ	
15:50～16:00	終わりの挨拶（アンケート記載）	

5. “災害看護活動の実際” (12:30~14:30)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対応を身近に感じることができる</li> <li>・災害時の看護活動を災害サイクルにあわせて考えることができる</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害サイクルが理解できる</li> <li>・災害サイクルに応じた看護活動が理解できる</li> <li>・看護学生として行動できることを具体的に考えることができる</li> </ul>
方法	<p>講義・演習</p> <p>①災害サイクルについて：講義</p> <p>グループワーク</p> <p>学生 30 人を 5 つのグループに分ける (1 グループ 6 名)</p> <p>①『急性期』『静穏期』において看護学生の立場から『自分たちができること』を考える</p>
タイム スケジュール	<p>12:30~12:45 (15 分)</p> <p>【講義】 ①災害サイクルについて</p> <p>12:45~13:45 (60 分)</p> <p>【グループワーク】『急性期』『静穏期』それぞれのフェーズにおいて看護学生の立場から『自分たちができること』を考える</p> <p>※『急性期』は避難所でできることについて</p> <p>※『静穏期』は今できることについて</p> <p>13:45~14:05 (20 分) 発表・まとめ</p> <p>14:05~14:20 (15 分)</p> <p>【講義】②病院での各フェーズの活動</p> <p>14:20~14:30 まとめ</p>
注意点	<p>グループでは司会、書記、発表者を決める。</p> <p>司会者は全員が必ず 1 回は発言できるように配慮すること。</p>